

地域医療連携室だより vol.6

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308

地域医療連携室の仕事

～医療・福祉相談～



昨年度1年間で受けたご相談の中で、もっとも多い内容は「転院・施設入所に関する相談」で、全体の6割強を占めます。

当院での急性期治療が終了しても、慢性期の医療行為や、回復期のリハビリテーションが必要である場合、また、身体機能の低下により介護が必要となる場合などにご相談を受けます。患者さんの身体状況だけでなく社会的な状況も踏まえてできる限り患者さんご家族の希望に沿った行き先をご一緒に考えていきます。

一口に病院・施設といっても、その種類は多岐にわたり、対象となる患者さんの身体状況も異なります。わかりやすい説明を心がけ相談に対応しています。

MSW 木下育子

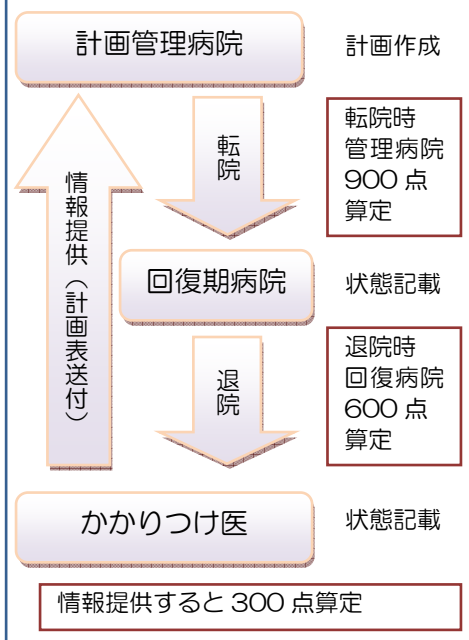
地域連携パスについて

地域連携パスとは、疾患の治療過程である「急性期」～「回復期」～「維持期」を地域内の複数の医療機関が担当することで切れ目のない治療を患者に提供するための計画表のことです。

発症後、急性期を受け持つ計画管理病院が患者の病状、障害の内容や日常生活評価を記載した機能計画表を作り、集中的なリハビリが必要になった段階で回復期を受け持つ病院へ計画表とともに患者が転院します。居宅へと退院する段階で回復期の経過を記載した計画表を維持期担当のかかりつけ医へ渡すことで地域連携パスが完全に“通った”ことになります。

当院を計画管理病院とする地域連携パスは、「大腿骨頸部骨折」と「脳卒中」の2種類あります。現在、回復期を担当する病院は蒲郡市の「蒲郡厚生館病院」豊川市の「可知病院」西尾市の「愛知リハビリテーション病院」岡崎市の「岡崎共立病院」です。維持期を担当するかかりつけ医が市内12の医療機関となっております。当院では、地域連携パスを完全に“通った”症例を増やしていくために、維持期を担当する医療機関を増やしたいと考えています。当院において届出の代行もできます。詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。

地域連携パス患者(計画表)の流れ



一連携室からのお知らせ

一般外来診療は、12月28日(土)から1月5日(日)までお休みをさせていただきますが、12月28日と1月4日の土曜日の午前中については、地域医療連携室において紹介患者の診察、検査予約をお受けしております。受付時間は午前8時30分から午後12時30分までです。

地域医療連携室だより vol.6

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308

蒲郡市民病院 整形外科

平成25年7月から竹内智洋医師が加わり5人体制になりました。4人からの増員であり、地域のニーズに昨年以上貢献できるかと考えております。毎週金曜日、千葉晃泰先生に外来患者をお願いしております。また、月1回金曜日、名古屋大学形成外科の亀井譲教授に外来を担当していただいております。



平成24年度の入院総数15,819人、外来数32,151人、手術件数482件でした。医師一人当たりの、入院・外来患者数が際立って多い現状です。外来患者数を減らすために、転院の協力を望んでおります。

入院患者様の疾患は、骨粗しょう症に関係した大腿骨頸部骨折・橈骨遠位端骨折・脊椎圧迫骨折が多くを占めます。約40%が緊急入院です。

病病連携で、大腿骨頸部骨折の患者様は、早期に転院していただいております。また、回復期リハビリテーションの症例に際しても、地区の医療機関にお世話になっています。

当院では、自宅へ退院できる患者様には亜急性期病床(現在8病床)があります。出来る限り、患者様の要望にお答えできるように入院期間を調整しております。

手術は、外傷を中心に取り組んでいます。大腿骨頸部骨折(年間約150例)、橈骨遠位端骨折(年間約60例)が主な疾患です。また、慢性疾患(人工関節置換術、脊椎手術など)も積極的に行っております。

文責 荒尾和彦